

令和 2 年度抗体検査を活用した
新型コロナウイルスの県内の感染状況等を
評価するための調査について

< 第二回（2 月～3 月）調査結果 >

令和 3 年 4 月

< 実施主体 >

奈良県

< 事業委託 >

奈良県立医科大学

検査について

○実施方法等

- ・ 県内病院を2月～3月に受診した、奈良県内在住の外来通院患者の血液検査の検体残余を活用し検査
(病院内で研究情報を通知するオプトアウト方式で実施)
- ・ 検査対応機器を保有する県内2病院で実施。
- ・ 検体合計数 3598検体 (参考：第一回検査 検体合計数 3505検体)

○陽性の考え方

- ・ 陽性の判定をより正確に行うため、また厚生労働省が実施した「抗体保有調査*」(令和2年12月実施)結果と比較するため、2種類の検査試薬の両方で陽性と確認された者を「陽性」と判定。

*12月14日～12月25日に東京都、大阪府、宮城県、愛知県、福岡県の20歳以上の一般住民 (合計15,043名) を対象に行った調査

第二回検査結果

抗体検査陽性率 **0.28%** (3,598人中10人)

参考：第一回陽性率 **0.03%** (3,505人中1名)

2種類の試薬のどちらも陽性の結果が出たのは、10名* (網掛け)

	アボット (+)	アボット (-)	計
ロシュ (+)	10 (0.28%)	7 (0.19%)	17 (0.47%)
ロシュ (-)	15 (0.42%)	3566 (99.11%)	3581 (99.53%)
計	25 (0.69%)	3573 (99.31%)	3598

- ・ 県内の陽性率は、7月時点の0.03%に比べ、0.28%と増加した。
 - ・ 厚労省調査、奈良県調査のどちらも、第一回実施時からの感染者数の増加と比例し、抗体検査陽性率も増加している。
 - ・ 県の陽性率は、前は宮城県と同程度だったが、今回は、宮城県よりも高くなっている。
- (参考) 1回：東京都0.10%大阪府0.17%宮城県0.03%
2回：東京都1.35%大阪府0.69%宮城県0.14%
愛知県0.71%福岡県0.42%